

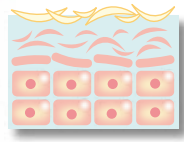
角質コンディションアップで 潤い素肌の基礎づくり!

秋を迎える頃の肌は

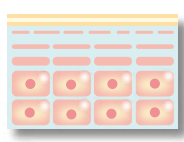
- ゴワつき ● くすみ
- 手ざわりの硬さ →
- メイクの乗りの悪さ

角質の水分不足が原因!

水分不足と保湿力の低下により
角質が乱れ、荒れて、
透明感を失ったお肌になる。
角質コンディションが低下した状態。



キメの乱れた
潤い不足の角質



キメの整った
健康な角質

発汗により角質層内の保湿成分 NMF が流出し、肌は
脱水状態にある上、エアコンによる乾燥が加わり、水
分量も保湿力も低下しているが、汗で潤っているため
に、それを実感できずにいるのです。(まやかしの潤い)

角質コンディションを高めるカギは洗顔です

しっとり柔らかな透明感あふれるお肌のためには、「汚れは残さず、潤い残す」洗顔が理想的。スロン「潤いキープペア洗顔」なら、汚れをスッキリ取り除き、お肌の水分をやさしく残します。汚れをゆるめて浮かすプレ洗顔ローション「スキンエッセンス」と、泡を用いず乳化によって洗い上げる「クレンジング&ウォッシングローション」をペアで使うスロン独自の洗顔法は、夏の疲れたお肌をいたわり回復に導き、柔らかな潤いあふれるお肌の基礎づくりをします。

『洗顔の新習慣』・・・洗顔前にプレ洗顔ローションを!

スキンエッセンス



- ① 汚れをゆるめて浮かす⇒落としやすくする
- ② 硬くなりがちな毛穴周辺の角質を柔らかくほぐす⇒ニキビ防止
- ③ お肌を柔らかくする⇒肌のゴワつきが気になる方に

『乳液洗顔で柔らか素肌に』・・・潤いを残すから洗い上がりが柔らかい

クレンジング&
ウォッシングローション



- ① メイク落としと洗顔が同時に出来る乳化洗顔法
- ② 泡を用いない乳液タイプの洗顔料で肌に負担をかけない

【肌別洗顔アドバイス】夏から秋へ…この時期特に気になるお肌のトラブルいろいろ。

スキンケアの基本「洗顔」をちょっと見直して、正しくケアしてみませんか。

しみ

- しみに摩擦は厳禁！肌負担を与えないよう優しく洗い上げることは、しみの予防につながります。又、皮脂やメイク料、UV剤が古くなり酸化したのも、しみの原因になります。汚れを残さないことと優しく洗うことの両立は、しみを防ぐ第一ステップです。

ニキビ

- 暑さで皮脂や汗の分泌が活発に…汗でベタベタしていると、汚れが付きやすくなり雑菌も繁殖します。ニキビケアは清潔が基本。とはいえニキビ肌は意外と傷つきやすく、水分不足になりやすいもの…デリケートなニキビ肌と潤いを守りながら洗い上げる洗顔を選びましょう。

くすみ

- 角質の水分量が低下し保湿性が悪くなったことでキメが乱れて起きる現象です。すりガラスのように光を乱反射するために、透明感のない、くすんだ肌に見えるのです。まずは角質をいたわる洗顔を。「潤いを奪わず守って洗う」を実施すれば、その後のお手入れの馴染みも高まり、柔らかな透き通った肌に！

毛穴開き

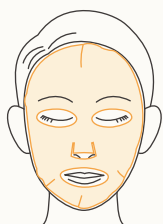
- プレ洗顔の効果が特に実感できます。汚れが詰まった「つまり毛穴」は、汚れをゆるめて落としやすくするので、毛穴を開かせることなく、スムーズに頑固な汚れを除去。一方、水分不足が原因の「たるみ毛穴」は肌が硬くなっているため、肌を柔らかくしてから洗顔することで、潤いを守り、しっとりもちもち洗い上げます。

まとめ



美肌への一歩は正しい洗顔から。スクラブ、ピーリング、ゴマージュ、酵素洗顔などで角質を削ったり剥がしたりすれば、角質の保湿力は一層低下します。スロンは角質を守り育てるものとの考えから、プレ洗顔「スキンエッセンス」と、泡を用いない乳化洗顔「クレンジング&ウォッシングローション」によるペア洗顔をおすすめしています。

おすすめ ケア



やさしく洗い上げたお肌は、吸収率も高まっています。ローションマスクを習慣化してみませんか。マスク又はコットンにローションをたっぷり含ませ、肌に密着させるように貼り5~10分ほどおきます。長くおくとコットンが乾き始め、せっかく与えた潤いを奪ってしまうので、ご注意くださいね。